

令和6年6月19日（水曜日）

経済観光委員会

第4委員会室

出席委員

山口 悟、白井義一、前川藤枝、駒田かすみ、
井川一善、井上太良、下林崇史、嶋谷秀樹、
西村しのぶ

開会

9時55分

農林水産環境局

9時55分

職員紹介

前回の委員長報告に対する回答

・姫路市ペット火葬施設の設置等に関する指導要綱について、要綱での対応が困難な事例が生じたこととなった場合には、条例化も視野に入れて適切に取り組まれないことについて

要綱の施行日である令和6年2月6日から現在までペット火葬車両を有する3事業者から使用開始届出書が提出されている。

その際、事業者には要綱の内容を十分説明し、適切に事業を運用するよう指導している。

ペットの火葬に関する苦情については、今のところ発生していないが、今後もペット火葬事業者の実態把握に努め、課題を整理するとともに、要綱での対応が困難となってきた場合には、条例化も視野に入れて適切に対応していきたいと考えている。

・姫路市新美化センターについて、社会情勢の変化によるごみ排出量の減少や頻発する災害にも対応できるような最先端の施設建設に向けてしっかりと取り組まれないことについて

新美化センターの整備については、本年度から、有識者や各団体の代表者、公募市民で構成する市附属機関「姫路市新美化センター整備基本計画検討委員会」を設置し、整備基本計画の検討を進めている。

整備基本計画の策定に当たり、人口減少やごみ減量化施策の推進など社会情勢の変化を考慮したごみ処理量の推計に加え、災害廃棄物の処理能力を見込んだ施設の適正規模を検討していく。

また、最新の廃棄物処理や環境配慮などに関する技術の研究を進めるとともに、メーカーヒアリング等により実現可能性やコストなどの調査を行い、環境に優しく、安全・安心で安定的にごみ処理ができる施設と

なるよう、専門家の知見も得ながら取り組んでいく。

議案説明

- ・議案第62号 姫路市立グリーンステーション鹿ヶ壺民間活用事業者選定委員会条例について
- ・議案第65号 姫路市市民農園条例の一部を改正する条例について
- ・議案第74号 契約の締結について（市川美化センター燃焼ガス冷却設備等整備工事請負契約の締結）

報告事項説明

- ・農水産物のブランド化推進事業について
- ・姫路市中央卸売市場経営戦略の改定について
- ・旧姫路市中央卸売市場解体撤去工事に係る地中埋設物等の追加処分について

質疑・質問

10時25分

（質問）

農水産物のブランド化推進事業について、姫路のめっちゃうま動画の配信はよいことだと思うが、この配信を市民に広めていくため、どのように取り組んでいくのか。

（答弁）

めっちゃうま動画は、姫路ケーブルテレビで放映し、その後はユーチューブでも配信している。

市の様々な事業のイベント機会を捉えて動画配信の広報を実施していきたい。また、PR用冊子も作成しており、併せて周知を図っていきたいと考えている。

（質問）

その冊子を見たことがない。市民の目につくところに設置するとともに、市のLINE公式アカウントも活用し、幅広く発信していけば、さらにブランド化の推進につながると思うがどうか。

（答弁）

PR冊子は観光案内所等に設置し、大型ビジョンや庁内のデジタルサイネージを活用したPRも行っているが、市のLINE公式アカウントについても、今後検討していきたい。

なお、PR冊子は改訂を控えており、現在、庁内掲示板を活用し、姫路産食材を使用している飲食店などの情報を募集しているところである。

（質問）

観光客に姫路産食材を知ってもらいたいという考えがあるのかと思うが、市民に周知されていないのは残念である。

旬の姫路産食材を使用した献立をLINEで配信し、家庭料理に活用してもらうなど工夫した広報をしてもらいたいと思う。

(答弁)

めっちゃうま動画に対するコメントにも献立に関する意見は多くある。

先日、神戸学院大学と姫路市中央卸売市場の関係業者が連携し、地場産品の魚を使用した料理の献立を作るという報道があったように、姫路産食材を献立に活用したPRも図っていききたい。

(質問)

ユーチューブのめっちゃうま動画の再生回数はどれくらいなのか。

(答弁)

6月5日時点での再生回数は、「太市のたけのこ」が1,813回、「網干メロン」が3,339回、「いちじく」が1,175回、「れんこん」が740回、「牡蠣」が649回、「いちご」が576回、「葉物野菜」が650回、「白鷺鱧」が1,521回、「ゆず」が2,197回、「ぼうぜ鯖」が2,844回、「姫路ねぎ」が221回、「トマト」が260回、合計1万5,985回である。

(質問)

少なく感じる。

各食材を使用した献立を募集するなど、市民に関わりを持ってもらうようにすればどうか。

(答弁)

そのような形の取組も検討していききたい。

(質問)

グリーンステーション鹿ヶ壺の事業者選定委員会について、鹿ヶ壺は地域の拠点施設として指定されており、地域の人々の期待も大きいと思う。

これからどのように事業者を選定していこうと考えているのか。

(答弁)

グリーンステーション鹿ヶ壺の件は、北部農山村地域の核となる拠点の1つで非常に期待が大きい。

地域の団体に運営を担ってもらっているが、平成6年の開設から30年近く経過しており、施設老朽化の問

題がある。

そのような中、令和3年度に実施したサウンディング調査では、観光業、旅館業、建設業、アウトドア業を営む6事業者から、「魅力のあるところであり、ブランディング次第で独立採算の可能性が高い。」、「様々な名所・旧跡があり、ポテンシャルが高い。」、「公設民営のような自由度がある運営形態がよい。」との意見をもらっている。

それを受け、令和4年度の経営会議において公設民営の方向性で進めることとし、令和5年度には、民間事業者に公設民営という形態で自由かつ安定的に事業を展開してもらおうよう、グリーンステーション鹿ヶ壺の敷地の借地部分を市で取得している。

(質問)

指定管理者制度の利用料金制であれば利用料金は民間事業者が収入し、それが不足するならば市がその一部を補填するという対応も考えられるが、公設民営で行う場合、市として何かできるのか。

(答弁)

今後の選定委員会等での検討内容であるが、基本的には、土地・建物を貸し、自由に運営してもらうこととなる。

老朽化している建物については、今後対応を検討していききたい。

(要望)

地域活性化の数少ない希望の1つなので、何とか成功への道筋を見出してもらいたい。

(質問)

姫路産食材のブランド化を推進するに当たっては、食材の種類が多すぎるのではないかと。

(答弁)

本市の農水産物は、京都の老舗店から求められるようなよいものに恵まれているが、収穫量が少なく、広く流通しておらず、種類も多岐にわたっている。

本市同様に様々な農水産物のある熊本では、それらをくまモンブランドとして統一しており、本市もそれに倣えばよいが、「姫そだち」、「ひめまる」など既に市場に流通した愛称があり、統一が困難なことや「太市のたけのこ」や「網干メロン」など地域の名称が入ったものを姫路産とすることに抵抗のある生産者もあり、調整を図っていく必要がある。

また、市外に出荷された食材を姫路市産と認識してもらうことは令和5年度に策定した農林水産ビジョンの中でも課題として挙げており、今後も引き続き検討していきたい。

(質問)

姫路市中央卸売市場経営戦略について、市場開場から1年が経過し、総務省から市場会計の財政シミュレーション作成に関する要請があったとのことである。

何か懸念事項でもあったのか。

(答弁)

以前から公営企業会計の視点での経営戦略が求められていたが、市場移転を控えていたこともあり、待ってもらっていた経緯があり、市場移転が完了し1年が経過したこの時期となっている。

総務省から求められているのは数値目標であるが、市場の今後の目指すべき方向性を示す姫路市中央卸売市場経営戦略と併せて市場の活性化を図っていききたい。

(質問)

開場後1年が経過したが、現在はどのような状態なのか。

(答弁)

移転後は事業者数が半減し、取扱量は減少しているものの、売上高は同等もしくは少し上がっている。

今後、市場施設使用料の激変緩和措置がなくなれば、場内事業者も苦しくなると考えており、姫路市中央卸売市場経営戦略の改定に当たっては、行政主導ではなく、場内事業者と協議しながら進めていきたいと考えている。

なお、将来、賑わい施設用地周辺に播磨臨海地域道路が開通することを考えると、今後ますますよくなる地域であり、当該経営戦略の中では、市場だけでなく地域の活性化も含め検討していきたい。

(意見)

非常に大きな金額をかけた施設であるので、先を見据えた経営戦略であってほしいと考えている。

(質問)

場外市場の機運はまだ高まっていないのか。

(答弁)

運送業者や倉庫業者など当該用地の利用希望はあるものの、そのような用途に使う予定はなく、まだ賑

わい用地としての機運は高まっていない。

場内事業者が他の企業と共同して取り組んでいくことも含め、今後改定する経営戦略の中で検討していきたい。

(要望)

よろしく願いたい。

(答弁)

旧姫路市中央卸売市場解体撤去工事に係る地中埋設物等の追加処分について、解体工事の施工中に判明したとのことであるが、積算時に見込んでいた作業が不要となったことによる減額要素はなかったのか。

(答弁)

既設図面から必要な作業を算出しており、減額要素はなかった。

(質問)

追加処分で見込んだ数量より少なかった場合はどうなるのか。

(答弁)

掘削した箇所で地中埋設物があったため、今後掘削するほかの箇所でもあることを予測したものとなっている。

それがなければ、減額を依頼したいと考えている。

(要望)

業者任せにせず、減額も踏まえしっかりと取り組まれない。

(質問)

議案第74号、市川美化センター燃焼ガス冷却設備等整備工事請負契約について、以前に半導体が入手できず、工期が延びたことがあったが、そのようなことは想定しているのか。

(答弁)

半導体不足は完全に解消していないが、それを十分に認識した上で、工期を要するものは、令和7年度に実施するよう配慮している。

(要望)

他部局でも同様であるが、現場の担当職員は、業者ができないと言っていることを報告せず、工期が遅れる段階になってから上司に報告するなどのコミュニケーション不足が原因と見られる事例が見受けられるので、管理職職員は部下によく気をかけてもらいたい。

(質問)

農水産物のブランド化について、先ほど収穫量が少ないとの答弁があったが、それを逆手にとることで価値を上げることができる。

生産量は少なくとも質の高いものは売れているので、行政としてどのような方向性を持っていくか、しっかり考えてもらいたい。

また、薩摩の芋焼酎や黒豚、熊本の馬刺しやスイカなど、冠となる言葉をつけて本市の特産品と分かてもらおう取組も大切である。

観光部局にも関係する箇所であるが、農林水産環境局としての思いを聞かせてもらいたい。

(答弁)

京都の老舗店から引き合いのある「太市のたけのこ」や「大津のれんこん」、フランスで表彰された播磨の日本酒、京都の料亭からも求められている「チョロギ」など、大量生産はできなくても品質のよいものは需要がある。

農林水産環境局としては、希少性を持たせたブランディングにより、ブランド化の推進を図りながら、農業の担い手不足や遊休農地の解消にもつなげていければと考えている。

(要望)

農林水産環境局の所掌事務は多いが、頑張ってもらいたい。

(要望)

先ほどの旧姫路市中央卸売市場解体撤去工事における追加処分のように、工事費の増額が必要となる場合において、現場担当者から、議会の同意が得られないから増額ができないなどの話を聞く。

しかしながら、根拠がある工事費ならば増額となっても適切に支出しなければならないので、まずしっかりと議会で説明してもらいたい。

(質問)

旧姫路市中央卸売市場の解体後は、次の予定も控えているが、追加の工事が発生しても工期は問題ないのか。

(答弁)

産業道路側の関連棟や一番大きな買荷保管所も既に解体されており、解体工事の進捗は比較的早いと考えている。

追加工事が必要となり、現在解体が止まっている部分もあるが、解体順序を見直すことで、当初の工期内で完了する見込みであると工事業者や営繕課から聞いている。

試掘した上で、何かが出てくることも見込んだ工程を組んでいるので、余程の事態が発生しない限り、大丈夫だと思っている。

(質問)

新美化センターの進捗状況はどうか。

(答弁)

現在、幾つかの準備作業を同時に進めている。

整備基本計画の策定については、委員選定を行っており、公募委員には7人から応募があった。

次に、地域連絡調整会議については、現在、津田地区連合自治会の4自治会長に協力してもらいながら構成員を選定しているところである。

また、旧南部美化センターの解体に向けては、アスベストやダイオキシンの調査・対応策等に係る仕様書の準備や、今後の土壤汚染調査の前段階である地歴調査を進めており、作業の進捗状況は見えにくいですが、着実に進めている。

(要望)

全国から視察に訪れるような新美化センターをつくるという熱意をもって取り組まれない。

(質問)

令和6年度から旧姫路市域のごみ収集形態が大きく変更となったが、大きなトラブル等なく、スムーズな実施ができているのか。

(答弁)

収集コースが変更されたことで、ごみの収集時間に変更となり、その認識がないまま搬出されたごみが回収されていないという事例が発生していた。

そのような場合、地元自治会長と話し合い、回収せず残してよい場合はしばらくそのままにし、その後回収することで、適正な時間に搬出することを啓発しており、最近は少し落ち着いてきたと聞いている。

(質問)

燃料価格高騰の影響を受ける運送業者に対して、補助を行っていたと思う。

同様に車両を使用する廃棄物収集事業者等から補助金は支出しないのかとの声を聞くがどうか。

(答弁)

観光経済局で何か検討しているのかもしれないが、当局では把握していない。

(質問)

行政視察で訪れた佐賀市では、使用済みの天ぷら油を回収する事業を実施しており、現在は、航空燃料「S A F」の原料となることから、非常に高値で買い取ってもらえるようである。

家庭から排出されるものの多くは、固めてごみで捨てられていると思うが、市の収入源になるのではと考えている。調査・研究をしてもらいたいと思うか。

(答弁)

兵庫県において、航空燃料のための使用済みの天ぷら油の回収事業の検討を進めていると聞いている。

本市では以前、使用済みの天ぷら油を回収加工し、市川美化センターのパッカー車両のバイオディーゼル燃料として使用していたが、ごみステーションが汚れることや収集業者の回収漏れなどの問題から廃止した経緯がある。

魚のあらのように、事業者間で有価で引き取られるような流れができれば、航空燃料への活用についても検討していきたいと考えている。

(要望)

今は1斗缶当たり1万円程度で引き取っていると聞いており、市の収入につながらないかと考えている。

自治会に作業を依頼し、その収益を還元すれば、自治会としても頑張れるのではないかとと思うので、研究してもらいたい。

(質問)

中央卸売市場の経営戦略について、場内事業者のアンケート調査と個別ヒアリングを実施するとのことであるが、来場者など消費者側のアンケートは検討していないのか。

(答弁)

経営戦略の改定に当たって、姫路市中央卸売市場開設運営協議会において外部委員である消費者代表の連合婦人会や連合自治会の委員からの意見、パブリック・コメントを通じた消費者の意見を聴取していきたい。

また、運営協議会でも仲卸業者を通じて市場を利用する小売業者の声を聞いていきたい。

ほかにも国が持つ卸売市場に関する全国的な消費者・小売事業者の意見データも押さえながら、意見集約をしっかりと行っていきたい。

(要望)

経営戦略の改定に当たっては、実際に利用する人たちの意見を大切にしてもらいたい。

農林水産環境局終了

11時33分

観光経済局

11時33分

職員紹介

前回の委員長報告に対する回答

・姫路港浜田地区の公有水面埋立地が有効に活用され、地域産業の活性化等につながるようしっかりとした支援に取り組みたいことについて

当該埋立てにより、本市臨海部である浜田地区で新たな工業用地が確保されることから、本市としても同地区が企業にとって活動拠点となり得る重要なエリアであることを広くPRし、新たな企業進出を促すことで、既存の地域産業の活性化をはじめ、新たなサプライチェーン機能の創出などが図られるよう企業誘致に積極的に取り組んでいく。

・ヤマトヤシキ跡マンションの1階部分に整備を検討している観光交流拠点について、分譲店舗の取得には、新たな財源確保が必要となることから、しっかりと見通しを立てた上で慎重に取り組んでもらいたいことについて

現在、検討している観光交流拠点については、分譲店舗を取得して整備する場合の事業費等への国庫補助金の活用を前提に関係部局と協議を進めているところである。引き続き、財源確保に向けた検討を進めていく。

議案説明

- ・議案第71号 姫路市民プラザ条例の一部を改正する条例について
- ・議案第73号 姫路市勤労市民会館条例を廃止する条例について

報告事項説明

- ・ル・ポン国際音楽祭2024 赤穂・姫路について
- ・ウクライナ避難民交流「善意と友好の絆」事業について
- ・姫路城保存活用計画策定に伴うパブリック・コメント

トの実施について

・大手前公園地下駐車場改修工事に伴う駐車場利用の休止について

- ・動物園の今後の方針について
- ・中心市街地活性化基本計画について
- ・観光経済局緊急経済対策事業について
- ・じばさんびるの活用方針について
- ・令和6年度 姫路みなと祭海上花火大会について
- ・「(仮称) 道の駅姫路」整備事業の進捗状況について
- ・ウインク球場リニューアル記念イベントについて
- ・「世界遺産姫路城マラソン 2025」事業計画について
- ・手柄山中央公園再整備事業の進捗について
- ・姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業経済波及効果等分析について

休憩 **12時45分**

再開 **13時40分**

質疑・質問 **13時40分**

(質問)

世界遺産姫路城マラソン2024において、ファンラン5kmの部が無効となったことについて、2025大会での対策を説明してもらいたい。

(答弁)

ファンランスタート時間の調整、折り返し地点の明確化など様々な方法を検討しており、今後の実行委員会において詳細に協議していきたい。

(要望)

委員会には随時報告してもらいたい。

また、安心して大会当日を迎えられるようしっかり取り組まれない。

(質問)

プレミアム付き商品券事業について、全てデジタル商品券となることで、どのくらい事務費を節減できるのか。

(答弁)

令和5年度は当初予算と補正予算を合わせて約2億6,000万円であったが、令和6年度はプロポーザルの提案上限額を1億7,500万円としている。

デジタルデバイド対策の充実のため、令和5年度以上に個別サポート機会を設ける等の増額要素もあるので3分の2程度の削減となっている。

(要望)

同じ仕組みで実施するのならば、最初からの開発は不要なはずである。しっかりと費用面を考えてもらいたい。

(質問)

海外からの観光客を対象とした姫路城入城料の値上げに関するマスコミ報道について、好意的な意見が多いが、海外からの観光客の見分け方など、今後の取組について説明してもらいたい。

(答弁)

防災グローバルフォーラム2024のモデレーターとのやり取りの中での市長発言であるが、姫路城入城料は、姫路城保存活用計画に基づき、おおむね10年間の維持管理費等の必要経費を勘案して設定するものであり、まだ検討段階である。

海外からの観光客を対象とした料金設定は、国内では例がなく、そのような料金設定が可能であったとしても、外国人かどうかを見分ける方法など、様々な課題を検討する必要がある。

(質問)

(仮称) 道の駅姫路の整備事業について、以前の資料には、令和5年に防災道の駅としての認定申請を行うとの記載があったが、それはどうなったのか。

(答弁)

防災道の駅は、令和3年に全国で39駅が選定され、その後は募集がない。

いつ募集があってもよいように、姫路河川国道事務所等と情報交換をしている。

防災道の駅の選定要件を満たせば、その候補リストに載ることになるが、防災拠点として、どのように活用していくかについては、今後、要求水準書も含めながら詳細を決定していく。

(質問)

手柄山スポーツ施設に整備する屋内プールは、小さな子どもが水遊びをする程度のものと思う。

市民プールがなくなり、近隣で小中高生が遊べるようなレジャープールは、姫路セントラルパークぐらいしかないが、同パークは、入場料や交通費を考えると非常に高額となる。何か補助は検討していないのか。

(答弁)

そのような観点からの検討はしていなかった。

(質問)

手柄山AUTUMN J AMB O R E Eについて、このイベントの開催経費の予算措置はなされているのか。

(答弁)

(仮称) 姫路球場まつりとして、主要事業にも掲載しており、その名称が決定したものである。

(質問)

世界遺産姫路城マラソンにおけるファンランの小学生定員220人について、前回大会でも満たせていないが、どのように考えているのか。

(答弁)

過去の大会では、多数の応募者があり抽選を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大以降は、子どもたちの運動機会が減少したのか、定員割れとなっている。

なお、前回大会は、スタート場所となる道路が4車線から2車線と減少することから、安全面を考慮し定員を減らしていたが、この度は4車線道路に戻るため定員も元に戻している。

定員数については、今後の動向を見ながら検討していきたい。

(要望)

小学校にしっかりと広報してもらいたい。

(質問)

姫路お城まつりについて、車椅子専用見学ゾーンを設けたことはよかったが、昼頃の来賓席には2人しか座っていなかった。

来賓席として広いスペースを確保しているのだから、高齢者等に開放してもよかったと思うがどうか。

(答弁)

姫路お城まつりの観覧席は、従前から課題があったため、このたび見直しを行い、来賓席の後方の人が観覧しやすいよう来賓席の段差をなくし、ユニバーサルツーリズム対応として車椅子専用見学ゾーンを設けた。

しかしながら、来賓席に空きが目立つ時間帯もあったので、観客が集中するパレードの時間調整など演出方法の工夫等を検討していきたい。

(要望)

臨機応変に対応できるよう検討してもらいたい。

(質問)

動物園の今後の方針(案)が示されているが、現在の遊園地機能はどうするのか。

(答弁)

遊園地部分は本市ではなく、行政財産の目的外使用許可を与えた民間事業者が遊具を設置しているものである。

(質問)

手軽に遊べる場所が市内になくなってしまおうことなのか。

(答弁)

本来は、御作事所があった場所であり、往時の姿を復元する中で撤去することになる。

代替は検討していなかったが、今後そのようなものを設けることができるのか検討していきたい。

(質問)

勤労市民会館が閉館となり、同館の大会議室のような100人を超える人数にも対応できる会議室を有する施設は市内でも限られている。

会議や勉強会の会場を求める市民もいると思うがどのように考えているのか。

(答弁)

代替施設として、兵庫県立姫路労働会館や近隣の地区市民センターを案内していきたいと考えている。

100人を超えるような大人数の会議の場合、利用希望日によっては、対応が難しいときもあると思うが、指定管理者と情報交換しながら、丁寧に対応していきたい。

(要望)

市の中心部にあるかどうかで利用者の使い勝手も異なると思うので、その辺りにもしっかりと配慮されたい。

(質問)

プレミアム付き商品券事業は、デジタルディバイド対策として個別サポートを実施するとのことであるが、健康福祉局の助成制度を利用し、これからスマートフォンを購入する高齢者が間に合うようなスケジュールとなっているのか。

(答弁)

プレミアム付き商品券の購入申込みを10月中旬に開始し、利用開始時期は11月中旬から下旬と考えている。健康福祉局と調整し、なんとか間に合うようなス

スケジュールで進めている。

(質問)

世界遺産姫路城マラソンについて、2024大会の日程が変更になったのはなぜなのか。

また、先程の答弁にもあったが、ファンランのスタート地点の変更について再度説明してもらいたい。

(答弁)

通常は2月の最終日曜日開催であるが、国公立大学の前期日程試験日と重なることから、2月11日の建国記念の日に変更した。

また、ファンランのスタート地点を護国神社前から変更したのは、2月11日に護国神社で開催される建国記念の催しとの交錯を避けるためである。

(質問)

勤労市民会館の廃止理由として挙げられている低濃度PCBの含有が推定される電気設備機器について、同時期に建設された市内施設でも使用されている可能性があるかどうか。

(答弁)

全庁的な通知があったため、各施設所管課において調査を行っていると思う。

(質問)

ル・ポン国際音楽祭2024のチケット販売について、ファミリーチケットは保護者と子ども4人までとなっているが、市民先行販売は1回の申込みで2人まで、1人1公演のみとなっている。

差をつけている理由を説明してもらいたい。

(答弁)

市民先行販売は人気のため、枚数に制限を設けている。ファミリーチケットについては、過去に要望があり、実行委員会で4人までと決めて販売している。

(質問)

ウクライナ避難民交流「善意と友好の絆」事業について、市内の小中学生と交流を図るとのことであるが、どのような内容を予定しているのか。

(答弁)

ウェールズ・コンウィ市公式訪問団の白鷺小中学校での実績もあり、何か本市での楽しい思い出をつくってもらえないか、教育委員会にも相談しながら検討している。

(質問)

中心市街地活性化基本計画について、令和2年から5年までの新規出店店舗数が122店舗となっているが、空き店舗数はあまり変わっていない。

新規出店した店舗が定着していないのではないかと。

(答弁)

平成22年の当初計画策定時は、空き店舗数のみを指標としていた。しかしながら、近年は空き店舗跡がコインパーキングになることもあり、内閣府から空き店舗数だけの指標では、正確な実態が把握できないとの指摘があり、第3期計画から新規出店店舗数と空き店舗数を指標に加えている。

計画期間の5年間にはコロナ禍もあり、飲食店を中心に定着しにくい状況であったが、その辺りも次期計画では内閣府と協議しながら検討していきたい。

(要望)

新規出店店舗数が増えても空き店舗数が減少しなければ、店舗が定着していないことになる。新規出店店舗のうち何店舗が残っているかをサブ指標とすることなども検討されたい。

(質問)

令和6年度姫路みなと祭海上花火大会について、新たに個人協賛を導入し、4号岸壁で1人1,000円のフリースペースを提供するとのことであるが、フリースペースの使用範囲は、レジャーシートやカメラ三脚の設置など利用者により様々だと思うがどのように考えているのか。また、協賛者をどのように識別するのか。

(答弁)

4号岸壁は外国船舶の入港時に利用する岸壁となり、相当の広さがあるため、混み合うことはあまり想定していない。

協賛者の識別方法として、1人1,000円という料金設定上、簡易なものを考えている。相生ペーロン祭も同様の有料観覧席を設けているのでそれも参考にしながら、安全に配慮しトラブルがないよう実施したい。

(質問)

三脚を設置して周囲とかぶらないように写真撮影するにはそれなりのスペースが必要となる。

場所取りでトラブルとならないよう混雑を前提とし、区画を区切ったほうがよいかもしいので、検討してもらいたいと思う。

(答弁)

手探り状態で始めており、P D C Aサイクルを回しながら最適な形に近づけていきたい。

(質問)

世界遺産姫路城マラソン2024のファンラン5 k mの部入金者832人に2025大会の優先出走権を付与することであるが、どの程度の出走者を見込んでいるのか。過去の事例も含めて説明してもらいたい。

(答弁)

コロナ禍で中止となり優先出走権を付与した事例では、対象者の3割程度から申込みがあった。

しかしながら、コロナ禍の事例で現在とは状況が異なると考えている。

運営の不利で迷惑をかけた832人には、ぜひとも来てもらい、おもてなしをしたいという思いである。

(質問)

姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業経済波及効果等分析において、25の主要イベントの入込客数が掲載されているが、チームラボ展や姫路城 C a s t l e H i s t o r y 30 t h 鏡花水月などの天候等に影響しないもので目標から大きく下回っているものはどのように分析しているのか。

(答弁)

チームラボ展は、令和元年に本市で初めて開催した時には、10数万人の来場実績があったが、今回は2回目のためかそこまで伸びなかった。

姫路城 C a s t l e H i s t o r y 30 t h 鏡花水月は、令和5年度に無料で実施し、このたびは500円と有料とし、強気の目標値を設置したが、無料の大手前通りのイルミネーションと分散し入込客数が伸びなかった。

酒と食とじばさんの祭典 i n 姫路は、入込客数の目標値を高くしすぎたことや広報がうまくいかなかった。

(要望)

目標を上回ったものは、そのまま伸ばしてもらいたいが、目標値の見通しが甘いものは、しっかり精査してもらいたい。

(質問)

市長発言のあった姫路城入城料の値上げについて、観光経済局内では検討していなかったのか。

(答弁)

従前から協議は行っていたが、様々な課題もあり、まだ検討段階のものである。

(質問)

姫路城の維持管理には国民の税金が使われていることや自国民と外国人の料金設定が異なる海外の観光地の例もあり好意的な意見が多いが、市としてどのように考えているのか。

(答弁)

しっかりと協議しながら進めていきたいと考えている。

(質問)

姫路市民プラザ条例の一部を改正する条例について、利用料金制を導入することによる指定管理者の自主的な経営努力の発揮や会計事務の簡素化の効果が挙げられているが、今後どのような展開を考えているのか。

(答弁)

利用料金制となっているアクリエひめじでは、自主事業として様々なイベントを誘致しているように、利用料が指定管理者の収入となることで、自主性が高まり、施設の様々な有効活用が図られることを期待している。

(質問)

姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業経済波及効果等分析の主要イベントアンケート分析調査において、バック旅行利用がかなり少数であるが、どのように考えているのか。

(答弁)

バック旅行の中には、人が集まらずに不催行となるものも多い。催行率が高い会社のツアーを分析し、コンベンションビューローと連携しながら取り組んでいきたい。

(質問)

動物園の移転時期が決定していない中、他の動物園への譲渡等で飼育動物数を減らしているのはなぜなのか。また移転後、どのように往時の姿を復元していくのか。

(答弁)

現在の場所では、獣舎の建て替え等もできず、動物福祉の観点から問題がある。飼育動物には、少しでもよい環境で育ててもらいたいという思いで取り組ん

でいる。

また、今後の復元作業に当たっては、姫路城保存活用計画でも求められているように、姫路城の将来像を描き、推進できる体制を整えしっかりと取り組んでいきたい。

(要望)

キリンやホッキョクグマなど子どもたちに人気の動物がいなくなり、新たな動物園の姿も見えなければ、市民の理解が得にくいと思うので、その辺りの対応にもしっかりと取り組まれない。

(質問)

水族館の将来像についてはどのように考えているのか。

(答弁)

平成20年のあり方検討会では、現在の場所での建て替え方針であったが、リーマンショックを経て、建て替えではなく、耐震補強、大規模修繕を実施して今に至っている。間もなく改めて補強を行う時期のため、今年度に劣化調査を実施する予定である。

(質問)

公民館で実施する「初めてのデジタル商品券講座」は、市の職員を公民館に派遣するのか。

(答弁)

プロポーザルの仕様書では、委託業者を派遣することとしている。

(質問)

1公民館に1人派遣するのか。

(答弁)

派遣人数の提案は求めているが、できるだけ多くの公民館で開催する事業者を評価したいと考えている。

(質問)

具体的な実施内容は提案によるということなのか。

(答弁)

昨年度の公民館での個別サポートへの参加者数は非常に少なかった。今年度は業者提案を受けた後、契約までに内容を協議しながら修正していきたい。

(要望)

市立公民館だけでなく、対象者が参加しやすいよう地域の公民館でも実施してもらいたいと考えている。

健康福祉局とも協議しながらしっかりと取り組ま

たい。

(質問)

勤労市民会館が廃止となることで市内の会議スペースが減少するとの議論があったが、アクリエひめじは、ホームページでは会議室の空き状況が確認できず、電話での問合せが必要であった。

目的の会議室を見つけることが市民の負担とならないよう市内の会議室を容易に比較して、空き状況の確認がしやすい会議室予約の仕組みづくりについて、他部局とも連携しながら取り組まれないかどうか。

(答弁)

アクリエひめじは、コンベンション施設でもあり、外部から予約状況が見えることが望ましくない場合があり、電話での問合せを求めることとしているが、これまでの運用実績を踏まえながら、指定管理者とも協議していきたい。

また、会議室予約の仕組みづくりについては、デジタル戦略本部とも共有し、今後検討していきたい。

(質問)

動物園について、近年の動物福祉の観点から、動物の飼育には一定の広さが必要であり、現在の基準ならば、あの場所に設置はできない。

動物園は動物の保護・繁殖といった役割を持っているが、それは民間でもできることであり、違う場所に新たに建設するという考え方ではなく、例えば、セントラルパークに動物を受け入れてもらい、市職員や学識経験者がそこに入ることで、今よりもよいものができるのではないかと考えている。

セントラルパークならば、レジャープールも備えており、播磨圏域の子どもたちの入場料を補助するなどすれば、双方に利益があるのではないかと考えている。

いずれにしても特別史跡内に位置する動物園の場所は、歴史的な背景に基づいた空間を整備しなければ、世界遺産登録も抹消されかねないということをしつかりと認識しなければならない。

現在の動物園を撤去し移設するには、そのような背景事情があることを丁寧に市民に周知しなければ、理解は得にくいと思うがどうか。

(答弁)

姫路市立動物園は開園から73年となり、お城の近くの身近に行ける動物園として、子どもから大人まで多

くの市民に親しまれてきた。

しかしながら、全国的に史跡内にある動物園は、築城時の姿に戻していくという文化庁の方針もあり、減少している。

本市動物園も少しずつ飼育頭数を減らしており、縄張り意識の強い猿や大型動物の移動等の課題もあるが、少しでもよい環境で育ててもらいたいという思いで取り組んでいる。距離の近いセントラルパークに受け入れてもらうことも案の1つとして今後検討していきたい。

(質問)

海外からの観光客を対象とした姫路城入城料の値上げについて、本市が実施することで海外の観光地で日本人が同じように高い料金を求められるようになるなど外交面での影響も考えられるので、国との調整も必要と考えるがどうか。

また単なる値上げではなく、市内での宿泊者に対しては、入城料の割引制度を設けるなど料金改定に当たっては工夫をされたいと思うがどうか。

(答弁)

外交面での影響は考えていなかったのですが、そのような視点も持ちながら、今後、様々な角度から検討していきたい。

(質問)

姫路城の桜は、既に寿命を迎えようとしている。植え替えは難しいと思うが、今後についてどのように考えているのか。

(答弁)

植え替えは文化庁との協議が必要なため、長寿命化を図る取組を実施しており、青森県弘前公園の樹木医や姫路市まちづくり振興機構の樹木医に桜の状況を見てもらっている。

(質問)

鏡花水月などのライトアップイベントは、夜の姫路城にも行ってみようかというワクワクするような企画であるが、残念なのは、イベント開催時間には既に閉店している周辺の土産物屋である。

市として、夜の観光のにぎわいづくりについては、どのように考えているのか。

(答弁)

コンベンションビューローと連携し大手前通りの

ほこみちエリアにキッチンカーを出したこともあるが、観光客が分散してしまった事例があり、夜のにぎわいづくりの困難さを感じている。令和6年度は、家老屋敷跡公園にもイルミネーションを設置し、周辺店舗を開店してもらうような取組も検討していきたい。

(質問)

お城まつりやゆかたまつりなどの市のイベントだけでなく、「痛車」やコスプレなど民間団体が主催する新たなイベントも活用しながら、本市の集客力を高めていってもらいたいと思うがどうか。

(答弁)

市のイベントのみでの集客には限界があると感じており、今後は、民間の力を活用できるような仕組みづくりについても検討していきたい。

(質問)

大手前公園地下駐車場の改修工事期間中において、車には代替駐車場を用意する予定があるとのことだが、同駐車場はバイク48台分駐輪スペースがあり、ツーリングでもよく利用されているので、その辺りにもしっかりと配慮してもらいたいと思うがどうか。

(答弁)

バイクの駐輪スペースについても配慮していきたい。

(質問)

トラック運送事業者燃料価格高騰対策事業について、市内の中小トラック運送事業者に対し、兵庫県トラック協会西播支部を通じて支援金を支給することである。

当該事業の対象とならず日常的に業務で車を使用し、燃料価格の高騰に苦しんでいる事業者もあると思うがどのように考えているのか。

(答弁)

このたびは速やかに事業化するために対象を限定しているが、次の機会があればそのような点にも配慮していきたい。

(質問)

本会議質問にもあったが、準中型免許について、建設業界等では、人手不足が大きな課題となっている。

近年の免許制度の変更により、求人への応募があっても普通免許しか取得していなければ、最大積載量が2トン以上の車は運転できない。

そのような車を使用する職種に就職するのならば、初回の免許取得時から準中型免許を取得する必要があることを啓発してもらいたいがどうか。

また、免許取得に対する市の支援策は検討していないのか。

(答弁)

準中型免許の取得啓発は、前回の委員会や本会議でも指摘されており、様々な機会を捉えて啓発していきたいと考えている。

また、支援策については、中小企業の人材育成に対する国の支援策もあることから財源も含めて実現可能性について検討したい。

(質問)

東京都北区にあるナショナルトレーニングセンターのように効率的なトレーニングが行える施設を誘致し、パラアスリートに対する本格的な支援を実施すべきだと考えるがどうか。

(答弁)

兵庫県内には、神戸市西区の兵庫県立障害者スポーツ交流館、たつのふれあいスポーツ交流館がある。

それらの中間に位置する本市にもあれば理想的であるが、まずはパラスポーツの認知度向上を図るため、講演会や健常者と障害者が一緒に楽しめる場の提供等の取組を推進していきたい。

(要望)

本市の子どもの体力測定の結果は芳しくなく、本市出身のトップアスリートも限られている。次世代のトップアスリートを育成していくために、国の補助金の活用など様々な角度での研究を進められたい。

観光経済局終了

15時45分

【予算決算委員会経済観光分科会（観光経済局）の審査】

意見取りまとめ

15時57分

(1) 付託議案審査について

・議案第62号、議案第65号、議案第71号、議案第73号及び議案第74号、以上5件については、いずれも全会一致で可決または同意すべきものと決定。

(2) 陳情報告について

・陳情第11号について報告。

(3) 閉会中継続調査について

・別紙のとおり閉会中も継続調査すべきものと決定。

(4) 委員長報告について

・正副委員長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了

16時03分

【予算決算委員会経済観光分科会の意見取りまとめ】

正副委員長退任挨拶

16時04分

閉会

16時05分